

第3回討委員会の概要（主な意見等）

「やまなし水素エネルギー社会実現ロードマップ（案）」

系統もある程度安定させながら水素をつかって、その水素をうまく使っていくというのが山梨の一番の特徴であるということを明確にした方がよい。

エネファームは何を燃料にして、どのように水素を取り出しているのか、知らない人にも分かるようにした方がよい。

「環境負荷の低減」の説明を、誤解のないよう分かりやすく記載した方がよい。

今後、新たな情報発信拠点を検討する際、新たな拠点をつくるのではなく、既存の施設を活用する、現実のモデル地域を広げていくなど、いろいろなやり方があるので、どのようにすれば発信力が強まるのかをしっかり考える必要がある。

「EVが注目を集めている」という表現は、「脱ガソリン、脱ディーゼルの流れの中で、ゼロ・エミッション・ビークルが世界的に注目されている」とした方がよい。

「おわりに」を追加して、最後に一番伝えたいポイントをしっかり書く必要があるのではないかと。

CO2フリーサプライチェーンの構築に、全国に先駆けて取り組んでいくという意志を強調してもよいのではないかと。

県が取り組むに当たって、国のお金だけでなく民のお金を活用するということを、今後の課題として記載したらどうか。

「やまなし水素・燃料電池バレー戦略工程表（案）」

燃料電池バレーの実現に向けた取り組みを支える人材について記載した方がよいのではないかと。

アウトカムは、もっと野心的な数字でもよいのではないかと。